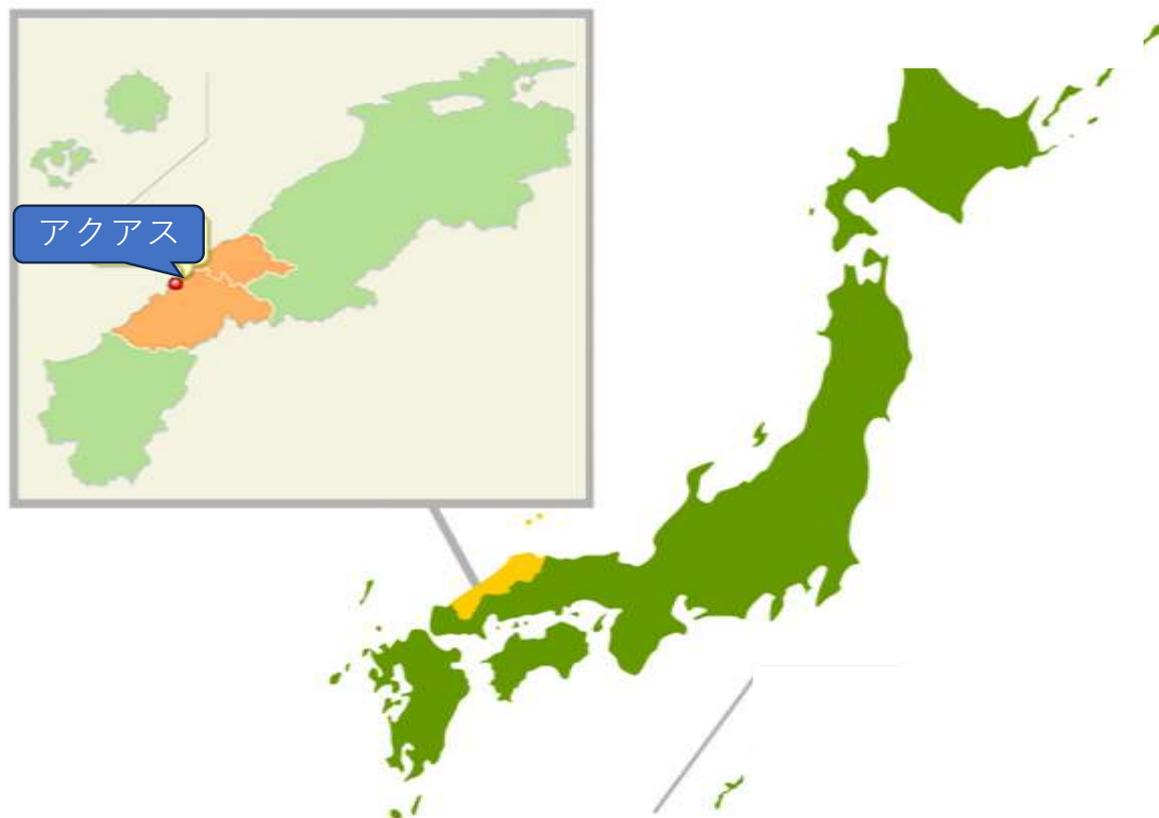


シロイルカの調餌作業を受託して ～水族館と複数就労継続支援事業所の挑戦～

- 山本 直紀（社会医療法人清和会ヴィレッジせいわ
就労継続支援A型・B型事業所「はまかぜ」課長）
- 佐々木裕介（所長・サービス管理責任者）
- 岡崎 博子（主任）、新家望美（主任）



島根県浜田市・江津市のご紹介



3か所の事業所の紹介

- 社会医療法人清和会 ヴィレッジせいいわ
就労継続支援A型・B型事業所「はまかぜ」
- 合同会社演舞企画
就労継続支援B型 なないろ江津駅前
- NPO法人浜田自立支援センターウェルチャーム
就労継続支援事業所 いなほの郷

受託までの流れ

- 2021年11月、島根県障がい者就労事業振興センターより、この作業のお話があり、説明会が開かれ、7事業所が参加しました。
- 調餌業務は365日あるため、一事業所での請負ではなく、地域の複数の事業所で協力して請け負うことをイメージ。
- 興味を示した3事業所が3週間の体験作業を行い、そのまま受託することとなった。

調餌作業の内容

- 9:00～2時間程度
- 職業指導員1名、利用者2～3名で従事
- シロイルカ4頭分、一日の量、約100Kgのエサを準備
- 荷出し → ばらし、傷みチェック → 計量 → 解凍 → 洗い、傷みチェック → 清掃

給餌作業（エサやり）
同行でのふれあい

ミーティング

●特徴的な取組～シロイルカとのふれあい

- 調餌作業終了後、給餌（エサやり）に同行しシロイルカとふれあうことをアクアス側から提案いただいた。
- シロイルカとふれあうことで利用者はより興味関心を持ち、やりがいを強く感じる事ができている。

取組を通して得たもの

- ① シロイルカとのふれあいからの効果
- ② 本物のホスピタリティの体験からの効果
- ③ 意見交換会からのネットワーク
- ④ その他の交流や活動による連携

① シロイルカとのふれあいからの効果

難しさや不安を抱く

目標を立て
前向きな
取り組み

主体性が
向上し成長に
繋がった

期待感・ワクワク感
を持ち、自己の
工夫や準備

質の高い
作業や意欲

チームワーク
の強化

②本物のホスピタリティの体験からの効果

感謝やお礼など
プラスの思い

本物のホスピタ
リティを体験

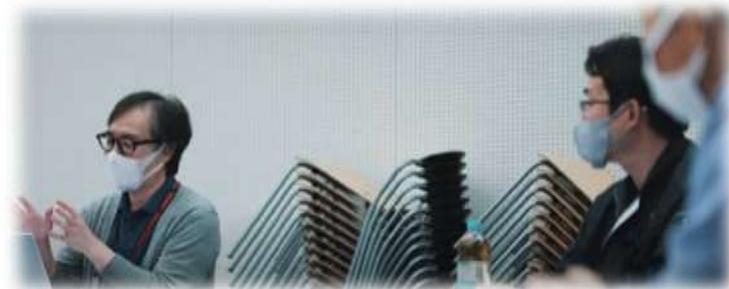
観光施設
アクアスの
職員との対話

新たな希望
も芽生える

自分たちの
課題や気づき

③意見交換会からのネットワーク

- アクアスと3事業所は半年に1度の意見交換会を行い、お互いの思いや問題点を共有する時間を設けている。



具体的には

- 作業ポイントや変更点の確認
- 事業所側からの要望
- 利用者の様子
- 今後の活動に向けて

認



④その他の交流や活動による連携

- 施設の見学会
- アクアスへの贈り物、贈呈式
- ナイトアクアスでの就労体験プロジェクト
- 調餌作業の紹介動画の制作
- この取組の報告に市長表敬訪問
- 大型スーパーや市役所での
- 活動紹介パネル展示
- 新聞やSNSでの発信

成果

上記の取組を通して得たものの4点に加え、アクアス側の成果としては、障がい者の就労支援という新たな試みをスタートさせたことは、人手不足の解消とともに、障がい者の活躍や憩いの場を提供し、新たな地域貢献の形を確立させた。

今後の課題及び展望

- 今後の課題として、受託日数の拡大、福祉事業所同士の交流やバックアップ体制の構築、ペンギン調餌作業の受託などがあげられる。
- 今後の展望としては、このアクアスでの施設外就労をステップアップとして一人でも多くの障がい者が一般就労につながっていくことを期待したい。

●調餌作業を紹介した素敵なYouTube動画
もありますので、ぜひご覧ください。



シロイルカ 福祉 検索

〈制作〉 島根県障がい者就労事業振興センター
〈撮影・編集〉 みんなのデザイン (B型)

ご清聴ありがとうございました。